

オーディオ実験室収載

My Sonic Signature Gold の活用(34) —アナログと他メディアの比較試聴(34) —

1. はじめに

今回取り上げるのは、ベートーベンのトリプルコンチェルトです。

2. My Sonic Signature Gold の試聴結果

前報(13)に述べた方法で試聴していきます。

【アナログ盤】

HQ Record HQLP006 カラヤン指揮ベルリンフィル

オイストラッフ（ヴァイオリン）, ロストロポーヴィッチ（チェロ）,
リヒテル（ピアノ） ベートーベン トリプルコンチェルト



【CD】

EMI 50999-6 カラヤン指揮ベルリンフィル

オイストラッフ（ヴァイオリン）, ロストロポーヴィッチ（チェロ）,
リヒテル（ピアノ） ベートーベン トリプルコンチェルト



【BPODCH】

2010.6.4 収録 ブロムシュテット指揮ベルリンフィル

ダニエル・スタプラヴァ（ヴァイオリン）、ルートヴィヒ・クヴァント（チェロ）、
マルティン・ヘルムヒェン（ピアノ） ベートーベン トリプルコンチェルト



3. My Sonic Signature Gold の試聴結果

カラヤン指揮ベルリンフィルと 3 人のソリストのアナログ盤は、いずれも大家である、指揮者と 3 人のソリストの個性と個性のぶつかり合いみたいなものが感じられて迫力のある演奏です。盤の方はハイクオリティであるとか、スーパーカットとかのうたい文句がジャケットに記載されていますが、それほどのこともなく、あくまで演奏を楽しむべきものと言えます。

カラヤン指揮ベルリンフィルと 3 人のソリストの CD は、マスターがアナログ盤と同じものです。音質はアナログ盤より、さらに一段劣りますが、演奏の雰囲気は出ています。

ブロムシュテット指揮の BPOCH の三人のソリストは、名前を聞いたことがないメンバーですが、映像から判断すると、ヴァイオリンとチェロはベルリンフィルのメンバーのようで、言わば内輪の仲間同士の演奏ということになります。決して大家の集まりではありませんが、ブロムシュテットの穏やかなリードの下に、気心のしれた演奏ということになります。

4. まとめ

カラヤン指揮ベルリンフィルと 3 人のソリストのアナログ盤は、大家達の演奏の醍醐味を味わえるものです。

以上

